

平成28年度第2回学校評議員会報告

岩手県立福岡工業高等学校

1 期 日 平成29年2月6日（月）14:00～15:00

2 場 所 本校視聴覚室

3 出席者

評議員 佐藤 順 福岡市立福岡中学校長

沢田 光広 元PTA会長

※都合により他3名の方々は欠席

学校職員

三田 章徳 (校長)

細谷 正憲 (副校長)

朝倉 衛 (総務部主任)

坂川 章浩 (教務部主任)

兼田 国博 (生徒指導部主任)

鳥居 郁夫 (進路指導部主任)

4 学校側の概要説明

総務部（朝倉）

- ・PTA総会の前に進路講演会を開催して保護者が興味を持って参加しやすいようにしたり、一斉配信メールによる案内を実施した効果により、出席率が17.7%と昨年度より0.5ポイント向上はしたが、今後さらなる出席率の向上を図りたいのだが、より効果的な方法を模索している。
- ・PTA研修旅行と同じ日に、母親委員会の研修を合わせて開催した。陶芸教室などは好評であったが、参加人数が少なかったのが残念である。

教務部（坂川）

- ・欠席数は非常に少なく、ほとんどの生徒が毎日学校に来て学習や部活動、資格取得に励んでいる。
- ・今年度より観点別学習評価を実施しており、多角的に評価が可能な授業の改善を図る事ができた。

生徒指導部（兼田）

- ・特別指導を受ける生徒が数名いた。
- ・4月から併設となったみたけ支援学校高等部との交流は、相互の生徒にとってよい効果をもたらしている。

進路指導部（鳥居）

- ・平成28年度の3年生は12月末までに100%の進路決定を果たした。
- ・今年度の求人数は、昨年と比較して特に県外企業からの求人が増加した。
- ・資格取得にも意欲的に取り組んでおり、今年度もジュニアマイスターのゴールドとシルバーの認定者は昨年並みであった。

5 提言等

【PTA総会についての提言】

- ・中学校では、総会の日には授業参観を併せて行っているのですが、約6割の保護者が参加してくれる。工業高校でも、試してみてもどうか。
- ・小学校から中学校まではPTAの関わりが非常に強いのだが、高校ではいろいろな地域から入学してくるので、それまで構築されていたものが崩れてしまう。新たに再構築するにも時間が必要であるので、県や市と連携して中学校と高校のPTAと一緒に活動できるような新しい考え方や試みが必要な時代になってきているのではないか。

6 校長謝辞

日頃の本校の教育活動について、貴重な意見や要望をいただき感謝します。こらからの教育活動に生かして参りたい。

また、4月から開設した盛岡みたけ支援学校高等部の生徒とも清掃活動や体育大会・文化祭を通じて、相互の生徒の情操教育にも大きな役割を果たしたと確信しており、今後も継続していきたい。